

1年目を対象とした
新たな卒後研修の取り組み

臨床研修プログラム



国家試験合格後の1年間、最も大事な時期

1年間をどのように過ごすかは、その後の仕事を左右するといっても過言ではありません。「良い医療人」として自信を持って仕事を続けていくために「種(将来に向けての財産)」を手に入れて欲しいと願い「臨床研修プログラム」を導入しました。本プログラムは、従来実施している職種別新人研修と並行して実施致します

主体的かつ実践的に学ぶ研修内容になっており、1年間で実践力をつけて行きます

「臨床研修プログラム」の目的

- | | |
|---|----------------|
| 1 | 患者さんに触れること |
| 2 | 患者さんに接すること |
| 3 | 患者さんの不安を取り除くこと |

これらの意味と意義を正しく理解し、医療の重要な担い手として求められる知識・技術・姿勢の礎を築くことを目的としています

「臨床研修プログラム」の位置づけ

卒後研修(既存の新人教育)
(1年間)

《 技術・知識・姿勢 》

臨床研修プログラム
(1年間/24単位)

《 学習継続支援・体験 》

2年目以降
卒後研修継続

・本プログラムは、医師含め職種を越えたプロの指導を受けることができます。

・患者さんの立場から見た医療現場を経験することが出来る参加型体験型プログラムになっています。

★本プログラムへの参加者は、1年間に月1～2回程度本プログラムを受けて頂きます

★研修は半日を1単位とし、少人数4～5名でグループを作りプログラムを受けていただきます

カリキュラムの内容

2024年度配布用 (Ver. 1)

臨床研修プログラム【第13回】

臨床研修プログラム

本プログラムでは、

- 1) レクチャー (講義)
- 2) プレイ (実習)
- 3) アセスメント (評価)

区分	テーマ
総論	本プログラムの理念
チャプター 1	検査体験 各部署について
チャプター 2	手術見学 脳外科領域
チャプター 3	在宅診療同行 耳鼻科領域
チャプター 4	蘇生法 救急車 外部研修
チャプター 5	メンタルケア 内科領域
チャプター 6	クリスマス会 事例検討会
チャプター 7	災害拠点病院 トリアージ 循環器領域
チャプター 8	特定行為研修制度 眼科領域
チャプター 9	口腔外科 消化器外科領域
修了式/総括	

【チャプター1】 検査体験・各部署について

- ◆実際に検査を体験することで、検査の十分な説明が出来る。
- ◆検査の目的 ◆事前説明 ◆事後指示
- ◆患者さんの立場になって検査を受け、検査中のストレスなどを理解する。



【検査体験項目】

脳波	上部消化管内視鏡	CT
サーモグラフィ	トレッドミル	胃透視検査
腹部エコー	ABI	頭部MRI
聴力	心電図	
スパイロ	ABPM	
ホルター心電図	血管内皮動脈硬化検査	

【チャプター2】 手術見学・脳外科領域

- ◆実際に処置・手技を体験することで理解を深める。
- ◆それぞれの行動の理由を考えることが出来る。
- ◆手術に立ち会う。



【チャプター3】 在宅診療同行・耳鼻科領域

- 在宅診療に同行することで、地域医療の現状と医療・介護・福祉の連携について学ぶことができる
- 耳鼻科領域の疾患について理解できる



【チャプター4】 蘇生法・救急車・外部研修

- BLSの重要性を理解する
- 効果的な気道確保・人工呼吸・胸骨圧迫の手技を習得する
- 気管挿管・除細動の準備・介助ができる
- 救急カートの使い方がわかる



【チャプター5】メンタルケア・内科領域

- ◆主にセルフメンタルケアについて学ぶ。
- ◆社会人として自らの健康管理は重要である。
- ◆ストレスの蓄積により、生活・仕事に支障が出ないようにする。
- ◆そのために、精神面でのセルフケアが出来るようになる。



【チャプター6】 クリスマス会・事例検討会

- 患者さんと家族に寄り添ったレクリエーションの立案
- 患者さんの安全を考慮したレクリエーションの実施



- 事例を通して一連の実践の復習と結び付けができる



【チャプター7】災害拠点病院・トリアージ・循環器領域

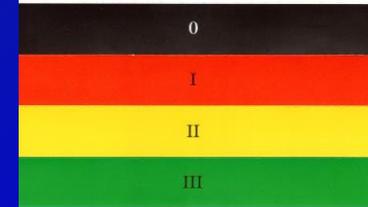
- 災害拠点病院の役割について理解できる
- 災害時、チーム医療として役割と活動について理解できる



トリアージ・タグ 東京都

(災害現場用)

No.	氏名 (Name)	年齢 (Age)	性別 (Sex) 男 (M) 女 (F)
住所 (Address)		電話 (Phone)	
トリアージ実施月日・時刻 月 日 AM 時 分		トリアージ実施者氏名	
搬送機関名	収容医療機関名		
トリアージ実施場所			
トリアージ実施機関			医師 救急救命士 その他
傷病名			
トリアージ区分 0 I II III			



【チャプター8】 特定行為研修・眼科領域

- ◆段階毎に卒後研修を受けた後は、各分野の特定行為研修の道があり、自分の興味の有る分野で、より質を高めることができることを知る。
- ◆専門職として研鑽し続けることを理解する。



【チャプター9】 口腔外科・消化器外科領域

◆口腔外科領域の疾患について理解する

◆消化器領域の疾患について理解する



修了式・総括

- 全てのカリキュラム終了後、本プログラムの修了証書授与を行います。

